

ハンドベル演奏を楽しむ 高齢者のグループ

ハンドベル演奏で園児と交流するあかりのメンバー―綾瀬市の吉岡保育園提供



保育園訪問 交流も

綾瀬市吉岡地区センターのパートを振ることで、一
で高齢者がハンドベル演奏曲を演奏する。

を奏している「あかり」は、昨年「一人ひとりが音を出
（小嶋幸一代表）は、昨年し、一つの歌になります。

7月に音楽ボランティア心がつながっていくよう
「ワン・ハート」の中の一で、輪が深まります」と福
グループとして、発足し原さんは言う。

た。子どもたちと交流を持「面白くなってきまし
ちたいと、吉岡保育園を訪た。地域の人との交流は楽
れ、一緒にベルを楽しむこしく、前向きな気持ちにな
ともしている。ります」と小嶋さん。「難
しいけれど、楽しい」と皆
が話す。

以前からベル演奏をして5月に行った2回目の保
いた福原玲子さんが、高齢育園訪問では、夕焼け小焼
者の集まりで演奏して紹介けなど4曲を演奏し、園児
したのがきっかけだった。が歌った。一体化した充実
譜面が読めなくても気軽に感に、達成感を感じた。
できるからと「始めてみま「また来てね」の園児の言
せんか」と声を掛けた。葉にうれしさも込み上げ、
「きれいな音色に、覚え次回も楽しみになったとい
たいと思った」と会員が集う。

まり、7人で始まった。80歳になる会員もいるが
月に2回和やかな雰囲気「想像もしていなかったよ
で練習している。福原さんうな時間だと思えます。楽
が考案した、ベルを振る歌しいと喜んでくれるみなさ
詞の文字部分に丸印を付けんから、私のほうが喜びを
たオリジナルの楽譜を見もらっています」と福原さ
て、歌いながら練習する。んは話す。

一つ一つ異なる音程を出す
ベルを、丸印の付いた自分